

令和2年度 第1回総合教育会議資料

辰野町内小学校の挑戦

教育長

1 低学年（1,2年生）英語あそび**KIDS ENGLISH**

英語は楽しい！ 英語が話せるって最高！
笑顔あふれる子どもが教室いっぱい！

辰野町の保育園では、数年前から小学校に配置されているALTの先生が年5時間程度訪問し、園児たちが「英語」と関わる時間を設けてきました。そこに2年前からは「つくば開成学園高校」の英語の先生が加わり、つくば開成学園が持っている「Kinder English（幼児向け英語教育）」による楽しい英語あそびが実施されていました。

一方、今年度から完全実施され小学校の新学習指導要領では、小学校3年生から「外国語（英語）活動」が週1時間、5年生からは「外国語（英語）教育」が週2時間導入されることとなりました。しかし、1,2年生には英語の活動（あそび）がなく、せっかく保育園で楽しい英語あそびを経験して小学校に入学しても、3年生になるまでの2年間は英語と触れ合う機会がほとんどなく、楽しい英語が忘れられてしまうことになり大変勿体ないことです。

そこで町教育委員会では、昨年度この空白の2年間を埋めるため、小学校低学年（1,2年生）に「英語あそび」を導入する方針を立て、小学校の協力の基に準備を進めてきました。町内各小学校では、熱心な学級担任の先生方が中心となり昨年度の内から、3,4年生の英語活動や5,6年生の英語教育が先行実施され始めました。その後、1,2年生においても学級担任が試行的に、「英語あそび」に挑戦する気風をつくり上げてくれました。

これを受けて今年度から、町費の英語の先生を1名確保して、1,2年生と保育園の「英語あそび」専属としました。基本的な授業時数は小学校1,2年で年間17時間（3,4年生の「外国語活動の半分」）、保育園年長児クラスで16時間確保いたしました。

小学校段階の英語では、「英語って楽しい！」、「英語を話すって最高だ！」という意識を持ってもらえることが大切です。各小学校では、楽しい英語の授業を目指しています。昨年度から今年度にかけて、全小学校にて、全学年・全学級で英語の授業公開を実施しています。

2 高学年における教科担任制授業

新学習指導要領の精神である「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して、児童一人一人の「思考力・判断力・表現力」の一層の育成を図るためには、今まで以上に授業準備や教材研究の充実が求められます。またその一方、最近の児童の個性・特性の多様化を受けての

生徒指導に当たっては、すでに学級担任が一人で抱え込む時代ではなく、複数による指導体制により多面的に子供を理解し、対処することがますます重要になっています。

このような中、文部科学省は、「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引（平成28年12月26日）」を発表しました。この中には次の2点が挙げられています。

- ① 教育内容や学習活動の量的・質的充実が図られる中、小学校高学年での専門的な指導を充実させ、学力や学習意欲の向上を図る必要がある。
- ② 思春期が早期化し、子どもの態様が多面化している中、学級担任制と一部教科担任制を併用して様々な教員が多面的に子どもの指導に当たる必要がある。

これを踏まえ辰野町教育委員会では、早急に小学校高学年における教科担任制の展開を目指すことといたしました。小学校高学年に教科担任制を導入することにより、小学校の先生方の専門性がより高まり、これまで以上に質の高い授業が展開され、子供たちがより生き生きと学ぶ姿につながり、学習指導と生徒指導の充実、さらには中学校への円滑な接続などを期待しています。またこれは、先生方の負担軽減にもつながるものと考えています。

現段階では、教科担任制を意識した人事異動が行なわれておらず、教科担任制のための加配もない中での「辰野町独自」の実施となりますので、各小学校においては、無理のない形で可能な教科担任制を目指し準備を始め、できるところから実施に移し、ワンランク上の授業を目指し、児童の「学びに向かう力」の育成を図ることとしました。

なお、文部科学省では今年6月18日の「小学校部会 特別部会」において、「小学校高学年における教科担任制導入の考え方」をまとめました。その中で、

義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方に係る論点メモ(案)

- 1 義務教育の目的・目標を踏まえ、学年間の接続を円滑なものとし、義務教育9年間を見通した教育課程を支える指導体制の構築が必要。
- 2 GIGA スクール構想の加速化と併せて、きめ細かな指導により、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、才能を存分に伸ばすことができる、個別最適化された学びを実現していくために、新たな時代にふさわしい指導体制が必要。
- 3 個別最適化された学びを実現する観点からは、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図る必要があり、教科担任制の導入により、ICT の効果的な活用と相俟って授業の質の向上を図ることが重要。

(教科担任制導入の趣旨・ねらい)

- 1 教材研究の深化等により、高度な学習を含め、教科指導の専門性を持った教師が多様な教材を活用してより熟練した指導を行うことが可能となり、授業の質が向上。児童の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図る。
- 2 教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実や教師の負担軽減に資する。
- 3 複数教師(学級担任・専科教員)による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資する。

4 小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続(中1ギャップの解消等)を図る。など
(対象学年)

- 1 児童の発達段階を踏まえ、日常の事象や身近な事柄に基礎を置いて学習を進める小学校における学習指導の特長を生かしながら、中学校以上のより抽象的で高度な学習を見通し、系統的な指導による中学校への円滑な接続を図る必要。
- 2 このような観点から、児童の心身が発達し一般的に抽象的な思考力が高まる段階であり、これに対応して各教科等の学習が高度化する小学校高学年から教科担任制を導入できるようにする。

文部科学省では、2022年度から小学校高学年への教科担任制導入を目指す方向で準備を進めるとしています。

3 小学校における教科担任制の導入

(1) 辰野町の教科担任制

小学校における教科担任制の類型としては、主に下記の4つが考えられます。学級担任制の抱える問題点を解決するに当たり、辰野町が目指すものは、文科省や県教委から人事的な配慮も特別な加配も一切ない中での実施ですから、④の「学級担任間の交換授業」を基本としました。

① 完全教科担任制

(例) 中学校・高等学校と同様な教科担任による指導

- ・子供の発達段階から公立の小学校では実施しにくく、人的配置も基本的には行われな
い

② 特定教科における専科教員の単独指導

(例) 理科専科教員、音楽科専科教員配置等による指導

- ・すでに辰野西小学校、辰野東小学校では、今年度導入済み

③ 学級担任とTT指導を行う専科担任

(例) 専科教員が学級担任と行うTT指導

- ・専科教員や支援員の先生がいないと導入できないが、辰野東小学校では今年度、工夫して実施

④ 学級担任間の交換授業 (当面、辰野町が目指す教科担任制の姿)

(例) 学級担任間で、特定の教科の授業交換で行う指導

- ・高学年を中心に
- ・国語、社会、算数、理科等、状況に応じて実施できる教科で

(2) 学級担任間の交換授業導入の目的

① 学習指導の充実：教科の専門性に基づいて、指導方法の工夫改善が充実できる

- ・専門性を生かして、指導法及び評価方法の改善が図られる。
- ・指導教科数の減少に伴い教材研究の時間の確保がしやすい。
- ・教材研究の深化や教具の創意工夫がしやすい。

・教員の負担軽減が図られ、教員の働き方改革につながる。

② 生徒指導の充実：多面的な児童理解に基づいて、組織的・協力的な指導が充実できる

・複数教員による指導体制により、児童理解が深まる。

・情報共有のための教員間の連携強化が図られる。

・学級経営から学年・学校経営への教員の意識改革が進む。

③ 中学校への円滑な接続：学びの連続性が確保できるため、小・中学校の円滑な連携が進む

・中学校進学時の学習等に対する児童の不安解消が図られる。

・小・中学校の指導内容の系統性を踏まえたカリキュラムの検討が必然的に行われやすい。

(3) 教科担任制導入の具体

① 学校規模・課題に応じた教科の選択

a 学級担任制を基盤とし、先生方の構成や児童の状況に応じて実施学年・教科を決め出す。

b 学級担任間による単元の交換授業も可能である。

単元のみでの交換授業を行う方法もある。この場合、年度途中でも交換授業を行うことができるし、今後の本格実施に向けた準備にもなり得る。また、算数の図形領域の指導が得意、国語の説明文の指導が得意、といった個々の教員のもつ専門性も生かすことも可能。

c 高学年で実施するが、学校や学年の実情に応じ、必ずしも4年生からの実施ではなく5・6年生での実施でも6年生のみでもよい。

② 学習指導や生徒指導の充実

a 学年会（連学年会）による情報交換の実施。

b 教科担当者による教科会により打ち合わせや指導計画の作成。

③ 円滑な実施のための啓発

a 小学校教科担任制を円滑に実施していくには、PTA や地域との連携も必要となる。教科担任制の目的や期待される効果について周知を図ることはもちろん、授業公開等で積極的に学級担任どうしが授業交換を行なっている様子を見ていただく。

b 年度当初の PTA 総会や学校だより等で、小学校教科担任制の目的や期待される効果について保護者や地域へ発信し、理解を得る。（コロナ禍によりこの部分は啓発が不十分）

c 学校評価等で定期的な評価を行う。

4 ICT機器を活用した学習（オンライン学習を見越して）

(1) ICT教育の環境整備

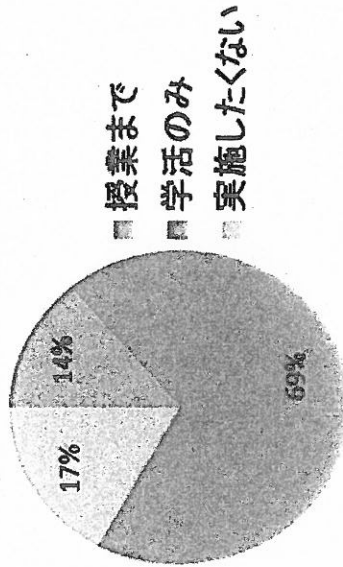
① 小中学校における環境整備

今後のICTのあり方について

町内小中学校の先生方の意識調査

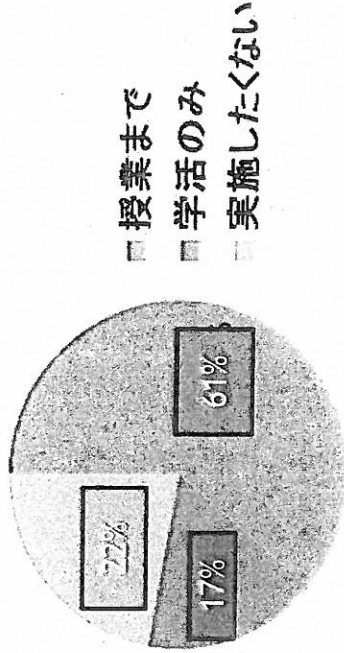
Web会議システムの利用

小学校



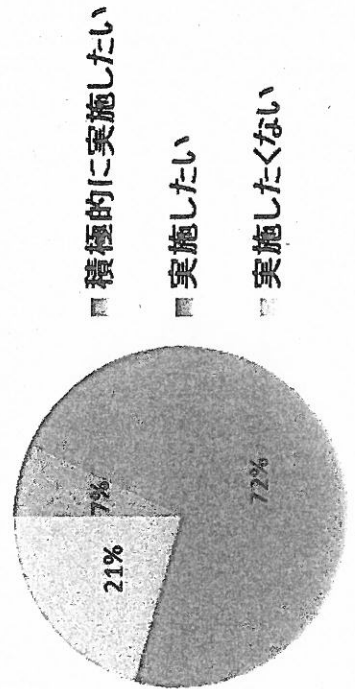
辰野中学校

Web会議システムの利用



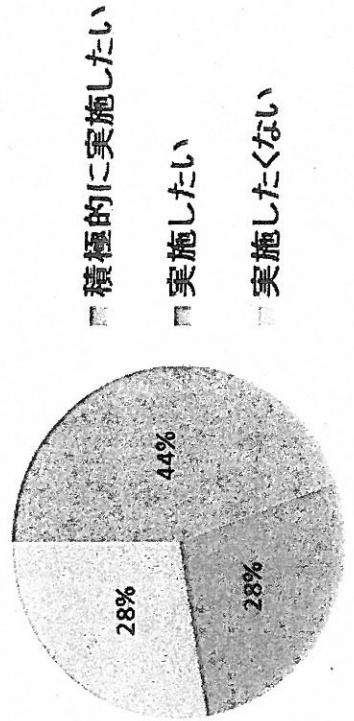
ICTを利用した家庭学習

小学校



辰野中学校

ICTを利用した家庭学習



オンライン学習推進のために意識したいこと

●オンライン学習の落とし穴

- ・教師主導：説明型の授業の踏襲
教師が一方的に解説し、生徒が正解を答える
- ・全員一律の課題を出す傾向がある
- ・説明をしただけで授業を行ったつもり
- ・低位生への配慮・学習状況把握が難しい
- ・評価が難しい
- ・バーチャル化が進む

現実
社会

対面授業に
相当する効果
がなければ

●効果的なオンライン学習のために

- ※オンライン学習は対面学習（授業）の補充ではなく、両者を組み合わせる。
- ・何を学校で学び、何を家庭で学ぶのかを明確にする。
- ・一斉授業ではない授業計画（授業改善）
- ・グループの他に、個人差を念頭にした探究学習を仕組む
- ・実体験（対面授業）を組み込む
- ・保護者の協力が不可欠！

学校
の存在
価値

世の中はアノログ社会！

- ・生身の人間どうしが協力しあったり葛藤したり、競い合ったり幸福を追求したりする複雑な社会
- 正解が一つではない社会！

本物を学び、感動を味わう必要

- ・感動が真実を追究するエネルギー
- ・バーチャルでは自然科学者不在！

改めて生きる力

※小中学校では、完全に対面授業に代わることはできない！

- ・小中学生は実体験で育ち、バーチャルは身につかない。
- ・先生と生徒、生徒どうしの働きかけの場 = 本物を五感で感じる場が学校
(友や先生の息遣いが
—— 感じられる場 = 密)

オンライン学習には課題がいっぱい、 でも整備は進む オンラインを生徒の学びに生かす

○ オンラインによる学びは、臨時休業になってからではなく、普通に学校生活が成立している今からできる準備を進めていく。
すでに辰野中学校では、オンラインでの集会等を試みている。

慣れし
かない

【学校】

- ・ オンライン研修
技術習得、授業改善
- ・ 授業・家庭学習の再構築
どんな力を付けさせるか、どの教材をどの方式で提供するのかが、
(講義型、協議・話し合い型、資料配布で個が自習する型、等)
- ・ 一方通行か相互か
生徒への指導
学習の仕方、ルール、演習、等

【生徒・家庭】

- ・ 保護者の協力不可欠
一人学びができる状況
- ・ 家庭でタブレット使用を試みる
スムーズな操作、トラブル対応
- ・ 生徒と保護者でルール決め
保護者の協力
- ・ 家庭で無理な場合、登校or公共施設へ出向く
自分はどこへ出向くか

【町・町教育委員会】

- ・ 環境整備のための財政的措置
校内環境は総て今年度内に完了
(タブレット、ポイント増設等強化)
- ・ 公共施設のWi-Fi環境整備
町民会館・町図書館、パークセンター、
等、教育委員会管理施設を中心に

ICT支援主事の有効活用を！
タブレットだけでなく授業も支援します

教室に常設のICT機器やタブレット、デジタル教科書を活用した双方向の授業は、そのままオンラインでも生かされる

○ オンライン学習は、不登校・不応傾向の生徒にとって、

新たな学びとして効果が期待される

新しい学びの姿：オンライン学習

この学びにより学校は今、岐路に立たされている

学校に行かなくても、家庭でオンラインで学習が完結！

従来見られた教師主導（一方通行）の
授業風景からの脱却が求められる

授業(オンライン) = 主体的な学び

学校は必要だ！

授業(オンライン) = 先生が一方的に教
える一斉授業

学校は必要ない！

再考

生徒が学校で学ぶための価値とは何か！

- 生徒自らが課題を発見し、自ら解決のために主体的に取り組むことができる学習
- 友だちと係わり情報交換をし、実物や実体験を通して学びを深められる学習
- 教師主導の説明型・一方通行の授業（先生の声のみ響く教室）からの脱却を。

塾とは
違ふ!

今こそ、「学校でなければ！」を考えたい
生徒にどんな力を身につけさせたいのか

○基本的な考え方

社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならぬ状況 with コロナ・after コロナはあってもbefore コロナはあり得ない

○感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立

感染症対策を講じつつ、学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、最大限子供たちの健やかな学びを保障

——新学習指導要領の目指す学びを着実に実現——

○新学習指導要領の精神を生かした学びの再構築：教師主導からの脱却を！

- ・自身の授業を大胆に、真に一人一人に寄り添った「個に応じた指導」に切り替え。
- ・授業と家庭（授業以外の場）での学習を繋ぐ。

○新たな学校行事の創造

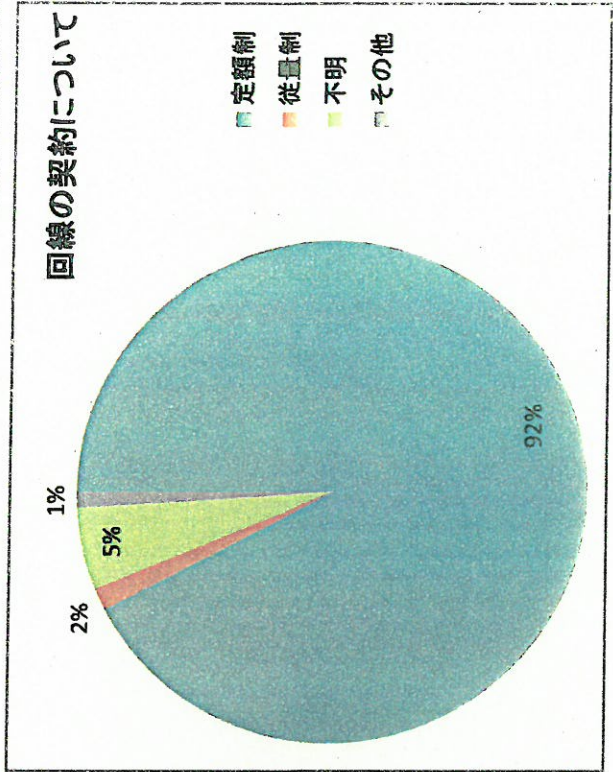
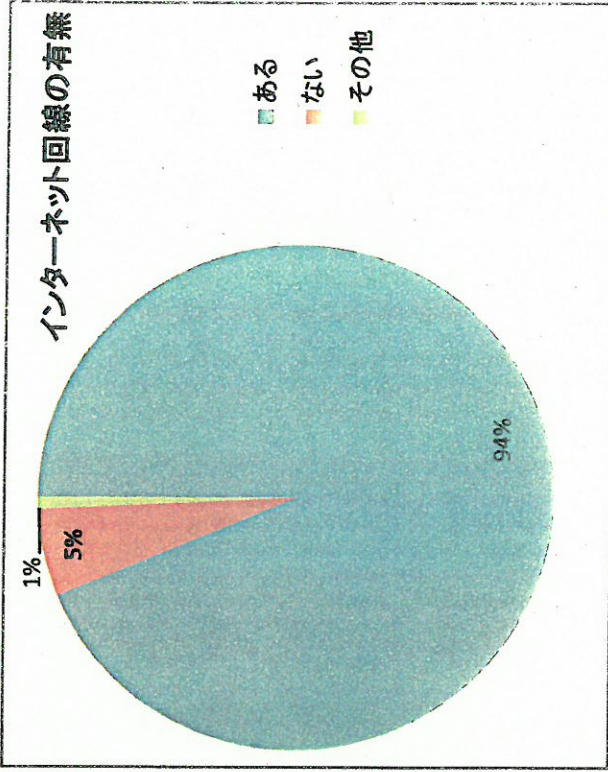
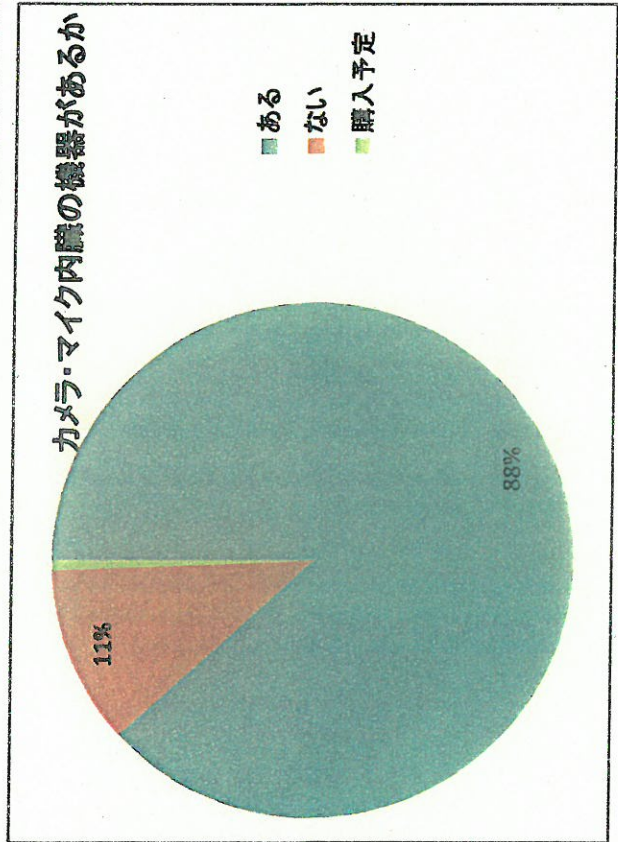
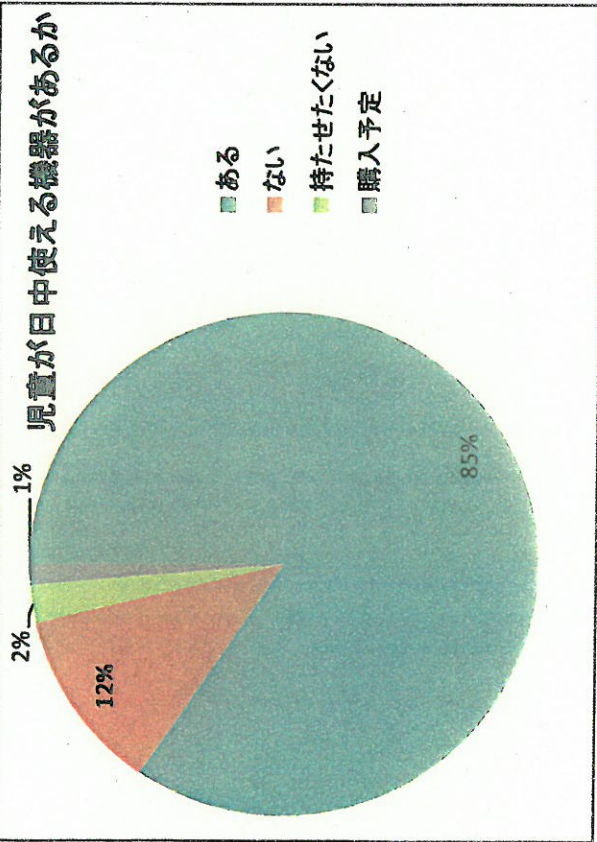
- ・従来の学校行事が中止や延期、行事を見直す好機。
- ・この機に、全教職員の英知で「新たな学校行事の創造」を

○特別活動の位置づけ

- ・臨時休業により人間関係の大切さを実感させられる、集団や社会生活に係わる資質・能力の育成を目指す特別活動の構築（特に「学級活動の意義」の再確認）

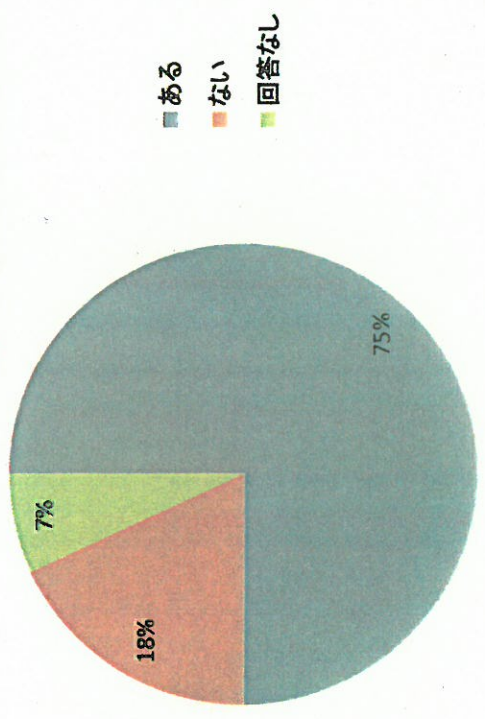
辰野町小中学校 ICT環境調査結果について

①小学校(全小学校 819家庭回答)

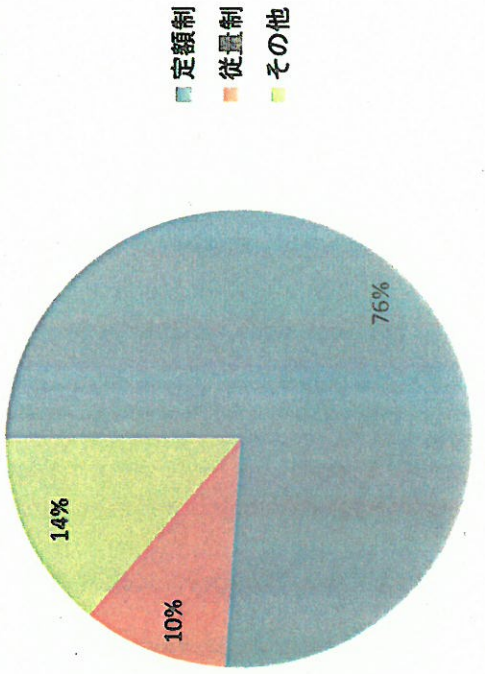


②中学校(469人回答)

生徒が日中使える機器があるか



回線の契約について



令和2年度辰野町小中学校タブレット購入について

(1) 予算額・落札額

① 予算額

125,114,000 円 (補助金 : 43,335,000 円、臨時交付金 : 81,776,000 円、一財 : 3,000 円)

小学校教育振興事務 78,815,000 円

中学校教育振興事務 35,519,000 円

教育振興事務 (両小野小) 10,780,000 円

② 落札額

82,677,100 円

小学校教育振興事務 46,757,150 円

中学校教育振興事務 28,510,130 円

教育振興事務 (両小野小) 7,409,820 円

(2) スケジュール

9月11日(金) 入札

9月14日(月) 仮契約

9月17日(木) 契約議案上程(議会最終日)

1月~3月 機器設定及び学校設置

3月末 納入完了

(3) 選定機器について

iPad (小学校1・2年)

→直感的な操作ができ、学習アプリが豊富で低学年において使いやすい

Windows タブレット (小学校3年~中学校3年)

→小学校3年生からローマ字を習うこともあり、キーボードが使いやすいWindowsを選定
多くのプログラミング教材に対応しており、混線等なく使用ができる。(iPadだとBluetooth
接続のため、台数が多くなると混線して使用が難しい事例がある)

将来多くの子がWindowsを使う可能性があるので、小中学校の段階で使い方を身につける
校務においてWindowsを使っている先生にとっては、使い方等指導が容易

1人1台の整備にスタートにあたり、他OSより導入後の活用が早い

(4) 調達台数について

小中学校：新規 Windows タブレット：655 台
 新規 iPad：226 台
 更新 iPad：67 台（補助対象外）

両小野小学校：新規 Windows タブレット：47 台
 新規 iPad：35 台
 更新 iPad：12 台（補助対象外）

(5) 端末の仕様

①iPad

端末：本体+キーボード+タッチペン
 保守：授業支援システムを含む5年間端末保守
 設定作業費：機器納入+設定作業（現地作業含む）

②Windows

端末：本体+キーボード+タッチペン
 オフィスソフト；Word+Excel+PowerPoint 等
 保守：授業支援システムを含む5年間端末保守
 設定作業費：機器納入+設定作業（現地作業含む）

③その他

管理用PC：構築費+研修+5年保守+サポート
 その他ライセンス：サーバ接続用ライセンス
 フィルタリング：持ち帰り対応のフィルタリング

(6) 1人1台の配置について（既に導入済を含む）

中学校	1組	2組	3組	4組	5組	特支	合計
1年	30	30	30	30	30	35	510
2年	30	30	30	30	30		
3年	35	35	35	35	35		

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
西小	36	36	35	35	35	36	458
	36	36	35	35	35	36	
						32	
東小	25	25	25	25	25	25	300
	25	25	25	25	25	25	
南小	22	22	22	22	22	22	132
川島小	5		7（新規2台、導入済5台）				12

両小野小	22	22	22	22	22	22	132
------	----	----	----	----	----	----	-----

合計	1544
----	------

中学校：導入済	iPad：新規分
小学校：導入済	Win：新規分